

第632号

発行所

一般財団法人 池坊華道会

〒604-8134 京都市中京区六角通
東洞院西入堂之内前町248番地

TEL (075) 2 3 1 - 4 9 2 2

発行人 市川定子
論説委員 池坊雅史
編集人 永森真理子

毎月25日発行 (月刊)

<https://www.ikenobo.jp/>

方で、前田順子園長のこ
挨拶を聴いた▼保育園と

えているし、感謝しかない▼道場1階2階にひまわりの会という名の通りの伸びやかな花が入っていた。1階の道場入り口から奥まで続く大作は出瓶者の皆さんの溢れる思いが一杯であった▼本部下2階で、何日も朝から夜まで生け込み準備をされていた。いつもは皆さんに挨拶したが、時にあまりの熱気を感じて静かに、気付かれないように通り過ぎたこともあった▼竹内先生は池坊保育園の理事長を発足以来ずっとされている。オープニングの保育園児の歌、池坊家と一緒の写真撮影、保育園児の生けた自由花など満載であった。オープニングと夜の祝賀会双方で、前田順子園長のご挨拶を聴いた▼保育園と保育園児に対する愛情、これからも継続発展させたい気持ちが伝わってきた。竹内先生の保育園への熱い心も伝わってきた▼保育園児全員に花ばさみを持たせて花育を使命と向き合う保育教育をする池坊保育園には独自の哲学がある。私も含め本部も今後、より一層応援しなければと心底思った▼ところで、竹内先生は古希の時と今回の喜寿、両方でお祝い花展をされている。東勝行特命教授もそうだ▼師弟関係の名の通り、人生をかけて弟子を一人一人大切に育てていく、また弟子もそれに応えて学び成長し、次の弟子を育てていく。こういう節目には、誰彼となくお祝いしようということになり、皆で心から祝福し、盛り上がっていく▼何と素晴らしいことだろうか。多くの人は定年後、社会との繋がりが希薄になり、ご家族などほんの一部の人々との縁しか無くなっていくと思う▼一生自己研鑽される池坊の先生方に定年はない。皆、節目節目で素敵な縁を更に深めていく。だからこそ、何歳になっても輝いていると感じるであろう▼果たして自分にはこうかという思いとともに、池坊華道の師弟関係の価値を改めて感じた一日であった。(池坊雅史)

旧七夕会から

旧七夕会記念式典

令和5年度池坊旧七夕会記念式典が、11月10日午後1時半から池坊2階と開かれた。



宗匠のあいさつ

式典は、篠原静子華道会理事(太宰府)の開会の辞で開始。華道文化高揚祈念の後、前年度池坊全国支部選出コンクール優勝の東京楓支部から優勝杯の返還が行われ、レプリカが贈られた。

続いて宗匠が、今回橘香章を受章される東勝行特命教授にお祝いを述べた。

華道功労敬老表彰の授与に移り、受賞者136名を代表し、清浦慧美子

べられた後、「敬老表彰の方々、心からお慶び申し上げます。年を重ねても京都に来ていけばなをいけられることが一番大切です。今後も、弟子たちを立派に育てていただきたい」「コンクールでは素晴らしい材料をつかいこなし、一つ一つの精神がこもった作品が見られました。人の作品、自分の作品を見て研究を重ね、これからも立派ないけばなをいけていただきたい」と話された。

その後、宗匠から東勝行特命教授に橘香章の授与が行われ、東特命教授が受章のあいさつを述べた。(別項)

常任委員(東京心会)が宗匠から表彰状と記念品を受け、窪田幸祐常任委員(東京むらさき会)が受賞者を代表してお礼の言葉を述べた。

支部選出コンクール表彰では、団体の部で優勝した田川西支部・高瀬須賀子支部長に優勝杯が渡された。団体、個人の部の表彰後、受賞者を代表して特選受賞の熊本橋支部・勝又裕子氏が謝辞を述べた。学校華道永年指導表彰では、西原美香理事(広島)が代表で表彰を受け、謝辞を述べた。

若宗匠があいさつを述べられ、池坊の歌を斉唱し、遠藤信月監事(郡山)の閉会の辞で式を終えた。

式典終了後、華道功労敬老表彰者と学校華道永年指導表彰者の一人ひとりに宗匠、若宗匠、審議役、事務総長から表彰状、記念品が手渡された。華道功労敬老表彰、学校華道永年指導表彰受賞者のお名前は次号で掲載)

コンクール入賞者

【団体の部】

- 優勝 田川西支部
- 第二位 京都支部
- 第三位 高岡支部
- 第四位 上海支部
- 第五位 松山支部
- 第六位 久留米支部

【個人の部】

- ▼特選 勝又裕子(熊本橋)▼准特選 片岡順子(三井筑紫) 吉富浩子(大牟田)▼推薦賞 渡瀬正美(富山中央) 仲知香(田川西)▼奨励賞

華道関係先哲物故者追悼法要

旧七夕会期間中の11月10日の午前10時から六角堂本堂で、華道関係先哲

物故者追悼法要が執り行われた。

池坊専永宗匠、専好若宗匠、美佳審議役、雅史事務総長、専宗青年部代表をはじめ、特命教授や全国の門弟、観光客ら多くの人々が見守る中、僧侶による法要が営まれた。

【支部長交代】

▼拓修会支部 神典子(2023年11月1日付)

【支部解散】

▼カナダ・ハミルトン支部 (2023年10月31日付)

第46回 池坊北陸三県連合花展 福井県で6年ぶりに開催

第46回池坊北陸三県連合花展(主催・北陸三県

福井県での開催は6年ぶり。池坊専好宗匠、

午後からの式典に続く

祝賀会は、まず福井県文化協議会会長の水井推山氏による尺八の演奏で始まり、参加者はひと時その音色に魅せられて聞き入っていました。池坊で52名を含む総数521瓶を3次にわたり展示した。若宗匠はロウヤガキ、白グミ、ブラックリフ、コスモスなどを用いた立花新風体を出瓶された。大会長の堀連合支部長から以下の報告。

「開会式は池坊専好様のご臨席のもと、西田教授、倉田准教授をはじめ、多くのご来賓や北陸三県の会員300名あまりの出席により、盛大に開催されました。専好様のご巡視では、一人一人に親しくお言葉をかけてくださり、皆さん感



若宗匠のご巡視

「開会式は池坊専好様のご臨席のもと、西田教授、倉田准教授をはじめ、多くのご来賓や北陸三県の会員300名あまりの出席により、盛大に開催されました。専好様のご巡視では、一人一人に親しくお言葉をかけてくださり、皆さん感

2023台日親善花展 海外派遣スタッフ決まる

12月20日から25日まで

後期(12月20日~25日

をとおさないながら、台湾

台湾・台北市で開催される「2023台日親善いけばなの根源池坊展」に派遣されるスタッフが、書類選考を経て、次の5名に決定した。

◇ ◇ ◇

前期(12月17日~23日(予定)) 江木淳人氏(吉

【海外講師派遣】

◇香港特別会員講習会(12月8日~11日) 土屋郁剛准教授

◇2023台日親善花展(12月18日~25日) 佐々木康人教授、古川浩孝准教授、古川幸司講師

章受章 橘香 東特命教授

章」を授与された。

橘香章は、池坊中央研修学院、芸術研究室ゼミ、三日間教室など教学面において多数の門人を育成



橘香章の授与

し、優れた技術を次代に継承した功績に対し家元から授与される章で、受章者は今回で延べ20名となる。受章者の野田唐峯名誉教授、上津原将仁名誉教授、堤裕真名誉教授、柴田英雄特命教授、瀬島弘秀特命教授、香月義則特命教授は現在もお元気で後進の指導に当たっておられる。

東特命教授は昭和20年生まれ、鹿児島県垂水市出身。同45年池坊入門。池坊中央研修学院で研さんを積



参拝に訪れる人々

北加支部創立60周年記念行事 若宗匠 花展出瓶、デモ実施

池坊北加支部創立60周年記念行事(ジュリー・ミズイナカタニ支部長)が10月21、22日の両日、米・サンフランシスコのホテルカブキで開かれた。池坊専好若宗匠が花展に出瓶、デモンストレーションを実施。随行には野田学教授が派遣された。



テープカット風景

花展(21・22日)

若宗匠、ナカタニ支部長、岸守一在サンフランシスコ日本国主席領事らによるテープカットで開場し、続いて巡視がおこなわれた。

デモ(22日)

約150名が参加。若宗匠は90分間で立て花、立花、生花、自由花計6作を披露された。虫の音の中に秋草を用いた自由花をはじめ、それぞれの作品に合わせたBGMを流し、また背景の絵に合わせたといわれるなど、

祝賀会(21日)

ナカタニ支部長、岸守主席領事のあいさつがあり、祝賀会が開始。クラシックの生演奏など、和やかなムードの中、終盤に若宗匠が英語でスピーチをされ、60周年記念の横断幕などがおこなわれた。23日には野田学教授による講習会があった。

東京中央橋会支部創立100周年 青・壮年部設立45周年記念花展



池坊東京中央橋会支部(児井ちず子支部長)が創立100周年 青・壮年部設立45周年記念花展『100年の道 これからの道』をテーマに10月21、22日の両日、東京都墨田区のすみだ産業会館8階 サンライズホールで開催され、総数146瓶が展示された。

以下、児井支部長から。小林春社教授のご指導を受け、記念花展を開催。創立以来受け継がれて来た「花の道」を、支部員一同心ひとつにしてこの一年間開催に向け努力して参りました。100年という長い歴史の流れに思いを馳せ、

東都橋会支部 創立75周年記念花展

池坊東都橋会支部創立75周年記念花展(野中喜久子支部長)が「悠久花への祈り」をテーマに10月21、22日の両日、池

三具足・立て花の古典コーナーと、それぞれの思いを託した立花・生花・自由花のコーナーを設けました。

支部員の一人から、今はじき金子霞璋先生(二代目支部長)の奥様から母が譲り受けた花器に、90周年に母がいたように燕子花をいけたという申し出があり、燕子花の

生花を展示してくれました。支部の歴史のひとつを見つめ、支那の歴史をたどる思いがしました。また、特別企画として親子いけばな体験教室を開催し、大盛況でした。多くの方々にご来場いただき、支部員一同この感動を忘れずに次に繋ぐべく精進いたします(写真・事務総長を囲んで記念撮影)

以下、野中支部長から。香月義則特命教授にご指導いただき、お迎えしました。支部花展を初めて経験する支部員も多く、いけばな風景は中央研修学院の教室のような熱気にあふれていました。

開会式には池坊雅史事務総長にご臨席、一人ひとりの作品を高く買いたいただきました。事務総長の温かく明るいお言葉に、出瓶者一同笑顔がはじけました。

若宗匠の活動から

奈良・東大寺で 献華



寺の創建に力を尽くし、初代別当を務めたと伝えられる。同寺では50年に一回、良弁僧正を偲んで法要を営んでいる。

さわやかな天気に恵まれた当日午前9時30分、同寺天皇殿から出発した僧侶、

良弁僧正は奈良時代に聖武天皇の仏教政策を支えた僧侶の一人で、東大



南大門からのお練り



献華風景

で参進。池坊からは若宗匠、池坊専宗青年部代表をはじめ奈良県、大和、飛鳥各支部の支部長らが参列し、沿道の大勢の参拝者や観光客が見守った。法要では惣礼、舞楽に次いで、若宗匠の献華が、千宗至裏千家家元による献茶と同時進行で行われ

た。松、柳、菊、ヒノキなどを使って立花がいけあげられ、仏前にお供えされた。途中、大仏殿の屋根から色とりどりの散華がまかれると、会場から歓声が上がった。その後、東大寺別当 橋村公英大僧正による表白や、法要や経典を巡って問答

する講問などがあった。当日は京都、大阪、奈良などの池坊11支部から71名の会員が参加した。



礼式生けの様子

若宗匠は10月2日、京都市左京区の京都芸術大学で開かれた公開連続講座「日本芸術史」日本芸術史の中の海外性と国内性」の「華道」の回で講義をおこなわれた。一般受講者、学生が受講した。

若宗匠は初めにいけばなの源流について「いけば

ばなは依代(国内性)、仏前供花(海外性)、草花の観賞の3つの要素から成り立っている。伝統文化であるいけばなは日本独自のものと思われがちだが、独自性がありながらも、他の影響を受け融合し今に至る」と話された。



また、特別企画として親子いけばな体験教室を開催し、大盛況でした。多くの方々にご来場いただき、支部員一同この感動を忘れずに次に繋ぐべく精進いたします(写真・事務総長と共

また「いけばなは出来上がった作品を見てもらうことが多く、過程を見せることはほとんどない」「礼式生けは、礼儀正しく品位ある所作で、手早く花をいけ終えること、またその姿を披露すること」と話され、池坊短期大学の学生2名による菊を用いた礼式生けがおこなわれた。作品が完成すると、会場からは大きな拍手が起こった。

講義後、質疑応答時間が設けられ、多くの活発な質問が寄せられた。

久しぶりの支部花展でしたが、お友達やご家族、小さな孫さんの姿もあり、和やかな雰囲気になりました。東京連合支部をはじめ皆様を支えられ、無事に楽しく開催できたことを、支部員一同心から感謝しております。今回の経験を糧に、心を新たに花の研さんを積み、次回へと繋いでまいります(写真・事務総長と共

石川県連合支部花展

IKENOBBOYSと

津軽三味線のコラボなども実施

池坊石川県連合支部花展(山尾恵美子連合支部長・小松支部長)が9月28日から10月1日まで、石川県金沢市の金沢エムザで『あなたに届け花の心』をテーマに開かれた。期間中石川県、金沢市をはじめ多数の後援を得て大作、中作、小品等総数283瓶を展示した。

以下、山尾連合支部長からの報告。

〈今回は公益財団法人いしかわ県民文化振興基金様より文化活動支援事業助成金の認定をいただき、新たな試みとして「IKENOBBOYSと津軽三味線のコラボパフォーマンス」『ごどもいけばな体験』を企画。県内でいけばなを習う学生コーナーや若手会員の青年部コーナーも設けました。

会場は、入ってすぐにかわいい小品や青年部の明るい作品が並び、来場者の方から「入りやすく、いけばなを身近に感じてすごく良かった」というお声もい



いけばなと津軽三味線のコラボ

以下、富田支部長から。〈3年前に新型コロナウィルス感染症の流行と共に中止となった支部花展。会場は公共交通機関

函館中央支部花展

『翔—かける—』

を使用するに少し不便な

池坊函館中央支部花展(富田ヒサ子支部長)が『翔—かける—』をテーマに10月7、8日の両日、北海道の函館市芸術ホールで開催され、45瓶を展示した。

その内の18名が青年部員。普段中々一緒に活動出来ない中、支部の顔ともいえる「お迎え花」を青年部へ依頼したところ、企画から花器の制作、い



花展会場の様子

呉橋会支部花展

『くらんまん』

池坊呉橋会支部花展(関藤芳子支部長)が『くらんまん』をテーマに9月30日、10月1日の両日、広島県呉市の呉信用金庫ホール展示室・2で、呉市、呉市文化団体連合会、中国新聞社の後援を得て開かれ、総数43瓶を展示した。

以下、関藤支部長から。〈柿沢正一講師のご指導のもと2年ぶりに支部



学校華道コーナーの様子

久しぶりに会う友達などお花を通してと改めて思いました。『花を鑑んでいると心と

松阪支部

ミニ花展

以下、増井支部長から。

池坊松阪支部(増井邦子支部長)は10月8、9日の両日、三重県松阪市の蔵(岡田英昭氏所有)でミニ花展を開催し、総数22瓶を展示した。

が、夏の猛暑や残暑でいつもより開花や紅葉が遅れて皆さん苦労されたようです。生花店で洋花や木物を購入して作品を構成した中に地元の花を、2輪いれるという作品が多く見受けられました。



蔵を利用した花展会場

新潟県連合支部花展

『未来への想い花一輪』

第9回池坊新潟県連合支部花展(清野真理子連合支部長・新潟支部長)が『未来への想い花一輪』をテーマに10月6日から9日まで、新潟市の新潟日報メディアシップ2階で新潟県、新潟市、報道各社の後援を得て開かれた。

以下、清野連合支部長からの報告。



作品が並ぶ立花コーナー。花の大作をはじめ、器や花形がバラエティーに富んだ生花コーナー。正風体と新風体の見比べある

来場された方々から「今まで見てきた花展とはひと味違う」「奥ゆかしさが感じられる」との声が聞かれました。

池坊滋賀北支部花展(草野豊支部長)が『北近江—よろしき面影—』をテーマに9月30日、10月1日の両日、滋賀県の長浜文化芸術会館で長浜市教育委員会、長浜市文化芸術団体協議会の後援を得て開催された。

滋賀北支部花展

〈会員数84名中62名が出品し、大作のお迎



花展会場風景

自然が豊かなので、庭や野山で採集した花材と生花店で購入した花材を合わせていくことが多いです

宇都宮支部

『花手水花展五社めぐり』

池坊宇都宮支部(中村まり子支部長)では、栃木県真岡市の大前神社を含めた県内の5カ所の神社で池坊『花手水花展五社めぐり』を9月30日から約一週間、開催した。以下、中村支部長から。

坊らしい立体的な『花手水』となりました。期間中は各神社が、それぞれの『花手水』の花材をメインにデザインした御朱印も頒布されました。御朱印には池坊の名が入り、いけ込みを担当した支部員も記念になったと感激していました。SNSでの告知や関連記事が新聞にも掲載されたため、いけ込み当日は朝の8時30分から御朱印を求めて東京や他県から訪れる参拝客が見られ、神社関係者を驚かせました。多くの方が各神社を巡り歩いて楽しんでくださったようです。

鉦路中央会グループ花展
『未来へつなぐ花々と共に』



いけ込みの様子

池坊鉦路中央会グループ花展(佐藤真貴子代表)が『未来へつなぐ花々と共に』をテーマに9月23、24日の両日、北海道の釧路市生涯学習センター市民展示ホールで開催され、鉦路市教育委員会などの後援を得て、総数35瓶が展示された。以下、佐藤代表から。



花展会場の様子

時を過ごしましたが、今

湖翠会支部・青年部
合同研修旅行

池坊湖翠会支部・青年部合同研修旅行(藤木千代乃支部長)が9月30日に開催された。以下、赤堀真紀子氏からの報告。〈合同研修旅行を実施し、25名がバスで京都へ向かいました。初めに池坊3階「いけばな資料館」で1時間程度の研修を行い、池坊中



六角堂で記念撮影

回開催することができ、喜んでいきます。佐々木康人教授のご指導のもと、ベテランの方から小中高大学生そして新人さんとして幅広い年代の方々が出瓶いたしました。花々の美しさと共に、日本の伝統文化を生かした作品、そして立花、自由花など、季節感あふれる展示となり

再開することができ、喜んでいきます。佐々木康人教授のご指導のもと、ベテランの方から小中高大学生そして新人さんとして幅広い年代の方々が出瓶いたしました。花々の美しさと共に、日本の伝統文化を生かした作品、そして立花、自由花など、季節感あふれる展示となり

青年部花展から

『秋の陽に花と集う』
清水支部
青年部花展

池坊清水支部青年部花展(田丸啓子支部長、鳥取郁子青年部長)が『秋の陽に花と集う』をテーマに9月23、24日の両日、静岡市のグランシップ静岡県コンベンションアーツセン

ター6階展示ギャラリで開催され、総数55瓶が展示された。以下、鳥取青年部長からの報告。〈季節が夏から秋に向かう時節、穏やかな陽の光に咲く草花を手に、一瓶にそれぞれの想いを現すいけ手と、その一瓶を楽しむ人が集い、共にこの秋を分かち合い楽しむ、そんな一会になればという思いで花展を開催しました。静岡県立大学華道部



広々とした花展会場

『姿を見つめて』
松山支部
青年部花展

松山支部第10回青年部花展(中村彊子支部長、日野智祥青年部長)が『姿を見つめて』をテーマに10月8、9日の両日、愛媛県松山市

のいよてつ高島屋本館9階ローズホールで開催され、総数49瓶が展示された。以下、日野青年部長からの報告。〈松山支部青年部花展が開催され、2日間で1141名のお客様にお越しいただき、無事に終わりました。40瓶の青年部出瓶数が追加、追加で49瓶になり、会場は華やかなムードに包まれました。来年は、第11回を迎



多くの方が訪れた会場

47都道府県

駅にいけばな

青森県・山梨県編

全国各地の駅に飾られているいけばなを紹介していきます。



青森県

弘前支部



- ①JR弘前駅
- ②支部員が4年前から、1週2名で担当。
- ④弘前市長のご厚意で展示ボックスを設置。支部費から1000円を支援して現在に至ります。色々な人から、楽しみにしている旨お声掛けをいただき、励まされます。

十和田支部



- ①JR七戸十和田駅
- ②石井麗子氏が10年前から、2週間に1回のペースで。
- ④和むと言われます。

山梨県支部



- ①JR甲府駅 構内
- ②支部創設時より70有余年、支部特別会員20名ほどが1週間交代の当番制で。年末年始は改札口通路へ大作展示。
- ③直近では令和3年にJR東日本社長表彰、令和5年10月25日にJR東日本から推薦していただき令和5年度 関東運輸局長表彰を受賞。
- ④手直し中には鉄道利用の多くの方々に「いつも見えています」「季節の先取り、楽しみにしています」などのお言葉をいただき、JRの方々とも挨拶を交わす笑顔の癒し空間となっています。



山梨県

お問い合わせは池坊総
所事務課まで。電話0
5(221)2888。

学校華道の活動から

中学校で いけばな体験 日向橋会支部

池坊日向橋会支部(齋藤クニ子支部長)が10月19日、宮崎市の宮崎第一中学校で行われたいけばな体験の様子



体験の様子

な体験で指導を行った。

以下、齋藤支部長から。

「宮崎市芸術文化連盟の依頼による宮崎市学校訪問芸術文化交流事業で、宮崎第一中学校を訪れ、1、2年生220人の「いけばな体験学習」に参加しました。場所、花器、花材、指導者をどうするかなど難しい問題がありました。学校側の協力と支部員・社中の力で楽しい活動になりました。」

支部員・社中11名で準備や指導に当たり、オンライン・レザーフアンなどを使った自由花をいけてもらいました。生徒たちは指導者の話に聞き入り、一つの花にじっと目を凝らし、真剣にはさみを入っていました。作品が出来上がると、互いに見せ合っていました。どの生徒も達成感と充実感で満ち溢れていました。後日、担当の先生から

「いけばなの奥深さや美しさ、楽しさを味わうことができたようです」とのお礼状が届きました。このような活動が、若い世代に、池坊いけばなへの親しみと興味をもたせることに繋がっていきましよう願っています」

伝統文化 親子花あそび発表会 むさし支部 木村氏

池坊むさし支部(福島愛恵子支部長)の木村一三中央委員が9月18日、埼玉県白岡市の白岡カルチャースクールで「伝統文化親子花あそび発表会」を開催した。

以下、木村氏から。

「会場を全館貸し切った。発表会を開催しました。」



作品と共に記念撮影

オーストラリアの生徒と いけばな交流 南越支部 重山氏指導

福井市の福井県立足羽高等学校で10月3日、オーストラリアのマリスト・カレッジ・キャンベラの日本語専攻の生徒が、池坊南越支部(安達武子支部長)の重山尚子氏が指導する同校華道部の生徒と交流を深めた。

以下、重山氏から。

「ちゃん、おじいちゃんたちがお孫さんのいけばなに感激していました。生徒が自分の作品を説明している姿が見受けられ、とてもうれしかったです。」

保護者や小学校の先生らが足を運んでくださいました。またこの日のために家族総出で、おばあ

「オーストラリアの生徒1年生から3年生23人が、華道や茶道などの日本文化を体験し、日本の生徒と交流を深めました。授業では初めに、いけばなは池坊から始まったことなど、歴史を少し、足羽高校国際科の生徒が英語通訳で説明。生徒たち、引率の先生方も興味津々に聞き入っていました。」

華道部員のサポートを受けながら、初めてのい

帰る親子の姿も見られました。

この親子花あそび会も3回目となりました。子供たちも話し合い、声を掛け合い、助け合いで、会を重ねることにたくましく成長する姿に、勇気をいただきました」



体験の様子

秋の子ども茶会と ミニ花展 豊田支部 渡辺社中竹田氏

池坊豊田支部(白井清子支部長)の渡辺たみゑ社中の竹田紗生氏が主催する宗栄子ども茶華道教室が10月1日、愛知県岡崎市の岡崎公園・城南亭で「秋の子ども茶会とミニ花展」を開催した。



皆で記念撮影

以下、白井支部長から。〈支部顧問の渡辺社中の竹田さんが主催する「宗栄子ども茶華道教室」の小学4年生から中学2年生の計12人が参加して、『秋の子ども茶会とミニ花展』が行われました。お茶のお点前と、秋の草花を使ったいけばなを展示しました。5月に始まった同教室の生徒たちにとって、初めての発表の場となりました。

当日は、中根康浩岡崎市長が茶会のお客様として参加していただき、中日新聞にも掲載されました。竹田さんも子ども教室の生徒さんたちも「緊張したけれど喜んでもらえてよかった」と笑顔いっぱいの一日になったようです」

私のいけばな人生

65



多久島良子氏
華道会常務理事
唐津支部
総華督

終戦を迎えたのは女学校3年の時であった。軍需工場への動員もなくなり学校に戻ったものの教科書はなく、先生方も生徒の扱いに戸惑われる中、自分たちで『徒然草』や『枕草子』をガリ版刷りして授業をしていた。い

と話したいとのこと。私は小使の小母さんが育てておられた花を、殺風景な校長室に唯一置かれていた唐津焼の壺にさし込んだ。桔梗と鳳仙花だった気がする。バーツさんは驚くほど日本語が堪能であった。何を話したのか記憶にないが、最後に「あなたたちのように素朴でやさしい花をありがとう。これからは、自分が正しいと思う道をしっかりと進んでいくてください」と言ってく

震えたことを忘れない。その思いを持ったまま、佐賀県庁職員として勤めだした時、職場のすぐ近くにお花の先生を見つけた。私の池坊人生がスタート。先生の勧めで裏千家のお茶も始めることになった。やがて、お昼休みに職場の仲間とお花の稽古を楽しむようになった。

九州大会のコンクールに出させていたたりしているうち、中央研修学院で勉強したいと思うようになった。当時は60歳までと入学の制限があり、定年5年前に早期退

職して中研に踏み切った。平成に入って池坊の支部長と裏千家の幹事長を同時に務めることとなり、それぞれの九州大会を成功させる責務に命がけだったことを思い出す。そして何事も自分一人で行うことなどない。たくさんの方々のいろいろな形の援助や協力があったことだと実感した。私の人生だったように思う。これから何かすることがあるとしたら、次の世代の人のために私に出来ることを探していくこと。それが、これまでにいた

社中の小学生が 免許状取得 東京彩翔会支部 中村氏指導

池坊東京彩翔会支部(中村正和支部長)の中村恵子中央委員から、社中の永石紗羅さん(小学3年生)が免許状を取得したお便りが届いた。



免許状と共に

物が大好きで、1年生のときにいけばなを習いたいとお母さんに言ったそうです。お母さんが学生のころ池坊を習っていたこともあり、池坊東本願寺教室の門を叩きました。3年生)が免許状を取得したお便りが届いた。

次は花展出展を目標にして、もっともっと楽しくお稽古しましょうね」

北陸三県連合花展 コンクール入賞者

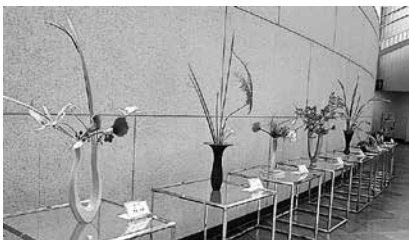
- 福井市長賞 島津ちどり(富山中央) 井新聞社賞 春日恵子(高岡) ▼FBC賞 高山恵里(小松) ▼福井テレビ賞 上田香(金沢) ▼秀作 坂本千尋(石川) ▼佳作 金山美穂(南越)
- ▼華道家元賞 山田知 会賞 越ひろみ(金城) ▼福井市教育委員会賞 西山榮津子(高岡) ▼福

『花』輪に思いをよせて
長野支部・轟社中展

池坊長野支部(高野博子支部長)の轟玉江華道会評議員が8月26、27日の両日、長野市の若里市民文化ホールで社中展を開催し、総数42瓶が展示された。

以下、社中展実行委員長の高野支部長から。

「記録に残る猛暑が続く中、2日間で450名の大勢の方々に来場い



社中展の様子

花展予報

12月3日
～1月14日

「支部花展」

◇『いけばな心うつつ』玉名支部花展(12月3・4日) 熊本県・玉名市民会館。35瓶。
◇『未来へ・愛しき花とともに』舞鶴支部花展(12月9・10日) 京都府・舞鶴市総合文化会館。123瓶。

ただいまし
た。一人1
作品それぞ
れ心を込め
ていけ、大作1、中作29、
小品12作を展示しました。
全員で力を合わせ社中展
の準備をして無事に開催
できたことは、大きな喜
びと経験になりました。
会場は、熱心に作品を

ご覧いただく人、笑顔で
会話を人、懐かしい人
との再会、小さなお子様
がお花を覗き込むように
見ている姿等々、とても
和やかで笑顔がいっぱい
の2日間でした。
花に癒され、花の力を
感じ、改めて次の世代に
繋げていきたいと思いま
す。

◇『心豊かに季の花を』
光支部花展(12月9・10
日) 山口県・光市文化セ
ンター。43瓶。
◇『花に夢をのせて』
臼杵支部花展(12月9・
10日) 大分県・臼杵市観
光交流プラザ。53瓶。
◇『初冬花に魅せら
れて』石州支部花展(12
月10・11日) 島根県益田
市・島根県芸術文化セン
ターグラントワ。70瓶。
◇『つなげよう、花の
こころ』高千穂支部花展
(12月10・11日) 鹿児島
県霧島市・国分シビック
センター。23瓶。
◇『花・煌めいて...』
茨城県南支部創立75周年
青年部30周年花展(12月
16・17日) 茨城県取手市
取手ウェルネスプラザ。
84瓶。

◇『花つなぐ未来
へ』横浜露生会支部82周
年・青年部30周年花展(12
月16・17日) 神奈川県横
浜市・みなとみらいギャ
ラリー。73瓶。
◇『ハッピー・Happy
Christmas』三重たば
な会支所花展(12月16・
17日) 三重県・四日市市
文化会館。90瓶。
◇『2023花・移りゆ
く季』宇部支部花展(12
月23・24日) 山口県・宇
部市文化会館。37瓶。
◇『新春いけばな展(伝
統文化こども
教室発表会)』

津支部花展(1月13日)
三重県津市・プラザ洞津。
32瓶。
◇『輝け花一生けよう、
飾ろう、楽しもう』松
山中央支部花展(1月13・
14日) 愛媛県松山市・い
よつ高島屋。101瓶。
◇『初生け会』佐賀市
連合会(小城・佐賀求道
会・佐賀一誠社・佐賀春
陽社・佐賀橋会)花展(1
月13・14日) 佐賀市・佐
賀城本丸歴史館。51瓶。
【青年部花展】
◇『HANAをいけよう』
熊本市四支部合同青年部
花展(12月9・10日) 熊
本市・鶴屋百貨店。26瓶。
◇『花とふれあう』佐
伯支部青年部花展(12月
9・10日) 大分県佐伯市・さ
いき城山桜ホール。16瓶。
◇『Merry Christmas
想いを束ねて届けよう』
宇和島支部青年部花展
(12月10日) 愛媛県宇和
島市・新橋銀天街商店街。
19瓶。
◇『春隣く早春をさが
して』掛け花展』千葉県
千桜会支部青年部花展
(1月9・15日) 千葉市・
そごう千葉店。25瓶。
◇『未来へ・eSTART』
東京千心会支部青年部花
展(1月14日) 池坊東京
会館。20瓶。

【社中展・ミニ花展】
◇赤田愛朋社中展(東
京京和会支部)(12月9・
10日) 埼玉県・富士見市
民文化会館。35瓶。
◇浜松華進社支部若手
発表会(12月10日) 静岡
県・浜松市福祉交流セン
ター。60瓶。
◇柿沢正一(呉橋会支
部)社中ほかミニ花展
(12月10日) 福岡県北九
州市・小倉城庭園 書院
棟。10瓶。
◇小山三枝子社中展(山
形橋支部)(12月14・17
日) 山形県・寒河江市立
図書館。16瓶。
◇江崎如風社中展(三
瀬支部)(12月16・17日)
福岡県久留米市・久留米
BJガーデン。35瓶。
◇ミニ花展(新潟支部
「風はな」)(12月20日)
新潟市西新潟市民会館。
20瓶。
◇苅屋珠倉社中展(和
歌山くらの会グループ)
(12月23・24日) 和歌山
県新宮市・丹鶴ホール。
50瓶。
◇砥鹿神社ミニ花展豊
橋支部)(12月31日～1
月3日) 愛知県豊川市・
砥鹿神社参道。15瓶。
◇九頭竜支部ミニ花展
(1月7・8日) 福井県
あわら市・セントピアあ
わら。19瓶。
◇松阪支部ミニ花展(1
月7・8日) 三重県松阪市・
フレックスホテル。20瓶。
◇佐藤秀月社中展(岡
山支部)(1月7・8日) 恵
岡山市・大神神社。30瓶。
◇初生け式ミニ花展(豊
橋支部)(1月14日) 愛
知県豊橋市・ホテルアー
クリッシュ豊橋。20瓶。
◇鎌田けい子社中展(浜
松華進社支部)(1月14
日) 静岡県・浜松市福祉
交流センター。152瓶。
※詳細は池坊WEBで。
※花展予報は池坊華道会
に提出された「花展開催
を基に掲載しています。

◇男花展「冬の東京
2023」(12月16・17日)
池坊東京会館(階ロビ)。
総数約80瓶。
※お問い合わせは池坊華
道会 華道振興課 男花
展係まで。電話075(2
31)4922(代)

三富恵子氏(雅号・恵
春、中
央委員
横須賀
支部、
総監督)10月5日逝去、
72歳。告別式は11日に執
り行われた。昭和41年池
坊入門。支部役員を務め
た。支部から「横浜ラン
ドマークタワー内の会社
に勤務し、同所で華道指
導。明るく社交的な方で、
仕事をしながら支部運
営に協力、今年度まで中
央研修学院で研さんを積
まれました」との報告。
柄澤優子氏(雅号・優
子、常
任委員、
元室蘭
支部長、
総監督)10月23日逝去、
95歳。告別式は27日に執
り行われた。昭和21年池
坊入門。平成14年から22
年まで支部長を務めた。
地域では室蘭清水丘高校
茶華道部で40年指導。室
蘭市芸術文化功労賞など
受賞多数。支部から「支
部創立70周年花展を立派
に成し遂げられ、大盛会
でした」との報告。

ミスキャンパス
同志社・立命館
ファイナリストが
いけばな体験



事務総長からの激励(同志社)



体験の様子(立命館)

「ミスキャンパス
同志社2023」フ
ァイナリスト6名が10月5
日、「ミスキャンパス立命
館2023」ファイナリス
ト6名からうかがい10月31日
に京都・池坊を訪問し、い
けばな体験を行った。

「未来の人
財である皆
さんは、無
限の可能性
を持ってい
ます。華道
は命と向き
合う唯一の文化。池坊では枯
れた花にも華がある、全てに
価値があるという精神があり
ます。奥深い世界なので1回
では分からないが、短い時間
の中で、何か心のどこかに残
るものがあればうれしいです」
とお言葉を掛けられた。

先生教えて
花器のこと



三浦友馨特命教授

【20】竹節立華瓶

竹の節を模した筋
が前後左右にあり、
耳の部分に獣面の細
工が施されています。
二代専好後から元禄
時代にかけて多く製
造され、今日造られ
る物も当時の高さ・
口径をほぼそのまま
に再現しています。
二代専好の高弟で
あった高田安立坊周
玉が好んで用いてい
た(『立花図并砂物』
います。



「KENBOYS」に
5名加入
KENBOYSの
関西を中心に活動する新
メンバーが10月1日に発
表された。
上西将吾・ウォンシャ
リョウタナワット(京
都支部)、岡本和也・手
嶋悠人(大阪中央橋会支
部)、星野貴志(東京生成
会支部)の5名でいずれ
も関西在住。今後は20名
で活動していく。

池坊WEBサイト特別会員ページパスワード

kxpet583

(期限: 2024年3月末)

※取り扱いにご注意ください
※同パスワードで会員専用ページも開く
ことができます
※日本在住の会員のためのサービスです



巡回講座日程

詳細は池坊WEBサイ
トからご確認ください。
【お問い合わせ】
教務課 電話
075(22
1)4550

〈年末年始
休業のお知らせ〉
池坊総務所、池坊華道
会、池坊華道会東京事務
所、日本華道社は12月29
日(金)から令和6年1
月3日(水)まで、年末
年始の休業日となります。
(初生けは1月5日)